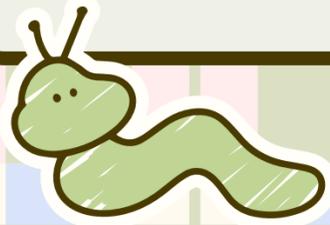
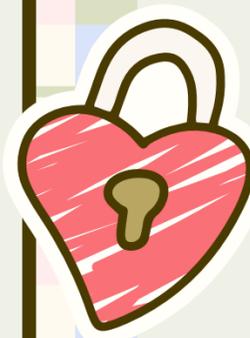
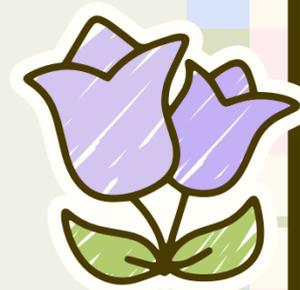
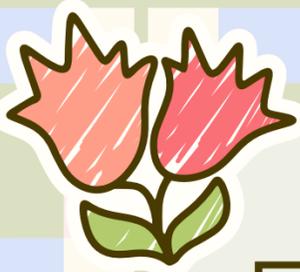


PTA家庭教育學級 TIPS集



集客の工夫



見本で興味喚起

製作系の場合
完成見本を広報時に
見せておくことで
作品そのものが
興味の入口となる

多角的な情報発信

SNSによる情報発信
だけではなく
町内会等の掲示板も
利用できると
幅広い層に情報を
届けることができる

多様な参加方法

事前申込みに加え
当日枠を設定する
ことで事前申込みが
難しい保護者も
参加しやすくなる



運営の工夫

- スタッフ人数の最適化

受付、誘導、体験補助、会場管理など
役割分担を事前に決めておくことで
当日の進行がスムーズになる

- 子どもの集中力対策

ワークショップは短時間の達成体験が鍵
飽きた子どもが走り回るのを防ぐため、
遊べるスペースを用意することも効果的



講師依頼のコツ

～テーマを決める～

01

委員自身がワクワクするような
テーマを設定する
「自分が聞きたいか？」を基準に
することで参加者の満足度も
上がりやすい

～講師選び～

02

設定したテーマに対する専門性
だけではなく、保護者目線で
話してくれる講師は評価が高い
講師のSNSや過去講座の評判も
参考にすると安心

～謝礼金、予算の確認～

03

講師謝礼は必ず明確化する
市費を利用する場合は、
申請期限や条件の確認が
必要なため、早めに確認する

～早期依頼が成功の鍵～

04

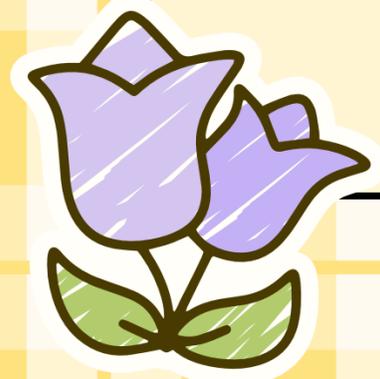
人気講師はスケジュールが
埋まりやすいため、依頼したい
講師が決まったら、
できるだけ早く連絡をとる

課題と改善

課題：チラシの情報整理不足

「何を学べるのか」
「誰に向けた企画なのか」
が一目でわかると参加率が
上がりやすい

↓
テーマを強調することで
伝えたい主軸を明確化する





成功ポイント

親子で楽しめる体験型が人気
(バルーンアート、味噌づくりなど)

「作れる」、「体験できる」、「持ち帰れる」
企画は満足度が高く、口コミも広がりやすい



まとめ

「共有」 → 「改善」 → 「継続」 の積み重ね

- 今年度の振り返りを次年度に活かす
- 役員が「できる範囲」で関われる仕組みづくり
- 資料整備やテンプレ化によって引継ぎを楽する
- 楽しみながら運営する





THANK YOU

